

一般質問

市政のいまを問う

この定例会では6月10日・11日・14日の3日間で、19人が登壇し37項目にわたり、市政について一般質問が行われました。主な項目について要約し、掲載します。

質問項目（発言順）

- ※1 新海 真規 議員
- ※2 城内 志津 議員
- ※1 鈴木 浩二 議員
- ※1 谷口 睦生 議員
- ※1 近藤 澄男 議員
- ※1 佐原 充泰 議員
- ※1 揚 張 慎一 議員
- ※1 松永 寿 議員
- ※1 牛田 清博 議員
- ※1 中嶋 祥元 議員
- ※1 蜂須賀 信明 議員
- ※1 鈴木 絹男 議員
- ※1 黒川 智明 議員
- ※1 伊藤 幸弘 議員
- ※1 上田 昌哉 議員
- ※1 山本 シモ子 議員
- ※1 星野 雅春 議員
- ※1 稲垣 雅弘 議員
- ※1 渡邊 妙美 議員



質問・答弁がホームページから映像で御覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。

新海 真規 議員

小学生・障害者のスポーツ施設使用料の減免を!!
—減免規定はないが、料金設定により対応をしている—

刈谷市のスポーツ施設では小学生や障害者に対する使用料の減免規定はあるか。

体育施設条例では減免について規定していないが、小学生や障害者に対しては料金設定により対応をしている。また、中小体連の大会などでは、市が各団体に委託料を出しているが、その中で使用料を賄っている。と認識している。

硬式野球に対する環境整備について、現在の検討状況は、硬式野球ができる施設としては刈谷球場があり、亀城公園運動広場では、試合やフリーバッティング、そのほか場外にボールが飛び出る可能性のある行為を行わないなどの条件を満たす場合に使用を許可している。

ウェーブスタジアム刈谷の照明灯は明るさが不足しているのではないかと、夜間の観客席の明るさについては、各種競技や大会などの開催時には、観客席の明るさを確保している。

本市の配食サービスは、一般食が週3回、調整食が週5回である。西三河で毎日利用できるのは本市だけだがなぜか、令和2年1月に実施した利用者アンケートでは、約6割の方が週3回を希望しており、満足いただいている。主な目的は、食料確保であるが、配食事業者も、見守りを行いたいが配食人員確保が困難なため、回数増加に対応できないと聞いている。

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

体調や安否を確認し、サービスの質を高めていることや食中毒の危険性から、今後手渡しの配食を行っていく。

現在の配食事業者は4者のみで、地区によっては2者からしか選べない。ピーク時の事業者数は、平成26年度の8者である。撤退が相次いだ理由は、

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

城内 志津 議員

配食サービスは利用者ニーズに合わせた事業に改善を!!
—本市の配食サービスは全体として充足している—

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

松永 寿 議員

耐震改修促進計画の目標値達成に向けた取組を!!
—啓発活動を行いこれまで以上の地域一体での取組が必要—

国の方針として家屋の耐震化の目標値は、令和7年までに95%、令和12年までにおおむね解消としている。多くの市が同目標値に設定している中、刈谷市が令和7年に91%、令和12年に93%とした理由は、

空き家を含めた全ての住宅を対象としたこと、また、耐震性のある住宅の推計において、市の耐震診断実績に基づき、実態に即した耐震性率により算定するなど、より刈谷市の実情に沿ったものにしたことと考えられている。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

鈴木 浩二 議員

耐震改修促進計画の目標値達成に向けた取組を!!
—啓発活動を行いこれまで以上の地域一体での取組が必要—

国の方針として家屋の耐震化の目標値は、令和7年までに95%、令和12年までにおおむね解消としている。多くの市が同目標値に設定している中、刈谷市が令和7年に91%、令和12年に93%とした理由は、

空き家を含めた全ての住宅を対象としたこと、また、耐震性のある住宅の推計において、市の耐震診断実績に基づき、実態に即した耐震性率により算定するなど、より刈谷市の実情に沿ったものにしたことと考えられている。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。



高齢者を見守りながらお弁当を届けます

一般質問

市政のいまを問う

この定例会では6月10日・11日・14日の3日間で、19人が登壇し37項目にわたり、市政について一般質問が行われました。主な項目について要約し、掲載します。

質問項目（発言順）

- ※1 新海 真規 議員
- ※2 城内 志津 議員
- ※1 鈴木 浩二 議員
- ※1 谷口 睦生 議員
- ※1 近藤 澄男 議員
- ※1 佐原 充泰 議員
- ※1 揚 張 慎一 議員
- ※1 松永 寿 議員
- ※1 牛田 清博 議員
- ※1 中嶋 祥元 議員
- ※1 蜂須賀 信明 議員
- ※1 鈴木 絹男 議員
- ※1 黒川 智明 議員
- ※1 伊藤 幸弘 議員
- ※1 上田 昌哉 議員
- ※1 山本 シモ子 議員
- ※1 星野 雅春 議員
- ※1 稲垣 雅弘 議員
- ※1 渡邊 妙美 議員



質問・答弁がホームページから映像で御覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。

新海 真規 議員

小学生・障害者のスポーツ施設使用料の減免を!!
—減免規定はないが、料金設定により対応をしている—

刈谷市のスポーツ施設では小学生や障害者に対する使用料の減免規定はあるか。

体育施設条例では減免について規定していないが、小学生や障害者に対しては料金設定により対応をしている。また、中小体連の大会などでは、市が各団体に委託料を出しているが、その中で使用料を賄っている。と認識している。

硬式野球に対する環境整備について、現在の検討状況は、硬式野球ができる施設としては刈谷球場があり、亀城公園運動広場では、試合やフリーバッティング、そのほか場外にボールが飛び出る可能性のある行為を行わないなどの条件を満たす場合に使用を許可している。

ウェーブスタジアム刈谷の照明灯は明るさが不足しているのではないかと、夜間の観客席の明るさについては、各種競技や大会などの開催時には、観客席の明るさを確保している。

本市の配食サービスは、一般食が週3回、調整食が週5回である。西三河で毎日利用できるのは本市だけだがなぜか、令和2年1月に実施した利用者アンケートでは、約6割の方が週3回を希望しており、満足いただいている。主な目的は、食料確保であるが、配食事業者も、見守りを行いたいが配食人員確保が困難なため、回数増加に対応できないと聞いている。

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

体調や安否を確認し、サービスの質を高めていることや食中毒の危険性から、今後手渡しの配食を行っていく。

現在の配食事業者は4者のみで、地区によっては2者からしか選べない。ピーク時の事業者数は、平成26年度の8者である。撤退が相次いだ理由は、

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

城内 志津 議員

配食サービスは利用者ニーズに合わせた事業に改善を!!
—本市の配食サービスは全体として充足している—

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

本市の配食サービスは、一般食が約27%、調整食は約38%の方が不在置きを希望している。不在置きを可能としてどうか。

松永 寿 議員

耐震改修促進計画の目標値達成に向けた取組を!!
—啓発活動を行いこれまで以上の地域一体での取組が必要—

国の方針として家屋の耐震化の目標値は、令和7年までに95%、令和12年までにおおむね解消としている。多くの市が同目標値に設定している中、刈谷市が令和7年に91%、令和12年に93%とした理由は、

空き家を含めた全ての住宅を対象としたこと、また、耐震性のある住宅の推計において、市の耐震診断実績に基づき、実態に即した耐震性率により算定するなど、より刈谷市の実情に沿ったものにしたことと考えられている。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。



高齢者を見守りながらお弁当を届けます

伊藤 幸弘 議員

魅力あふれる公園づくりの構築策定は広く市民の意見を!!
—地域の声や市民の意見を伺う機会を設け、進めていきたい—

昨年度、国が実施したヤングケアラーに関する実態調査は、抽出中学校及び高等学校が対象となっており、刈谷市全体の調査は未実施である。学校では、家族の世話や家事を理由に欠席する子供がいれば、ヤングケアラーやネグレクトなどの虐待を疑い、子育て推進課や児童相談センターなどの関係機関と連携して支援をする。

ヤングケアラーについて、教職員、児童生徒への啓発は、国は、ヤングケアラーの社会的認知度の向上を図るため、

魅力あふれる公園づくり事業は、5つの公園を対象に、それぞれの特徴を生かした将来構想案が示されるというところだが、魅力ある構想をつくるための市の考えは、

魅力あふれる公園づくりの構想には、公園の従来の活用に加え、その時代のニーズや社

佐原 充泰 議員

トップアスリートの技術を伝承できる環境づくりを!!
—子供たちを指導する登録制度を創設する—

本市のホームタウンパートナーチームにはトップレベルのスポーツ選手やスタッフが在籍している。そのOB・OGの中には、子供たちを指導したいとの意欲を持つ方がいる。OB・OGが次代を担う子供たちに、トップレベルの技術を伝授する環境づくりが非常に重要であると考えている。取組状況はどうか。

小中学生を対象としたホームタウンパートナーチームの選手等が講師となる「刈谷キラキラ教室」を開催している。また、今年度からは学校訪問型の刈谷キラキラ教室を新たに開催し、体育の授業で指導している。そのほか、OB・OGから総合型地域スポーツクラブや学校部活動の指導などの相談があれ

国際大会や全国大会などに出場するスポーツ選手が本市にスポーツチームだけではなく、本市にゆかりのある個人競技のトップアスリートや中高生などの未来のオリンピック候補などを加えてはどうか。

国際大会や全国大会などに出場するスポーツ選手が本市にスポーツチームだけではなく、本市にゆかりのある個人競技のトップアスリートや中高生などの未来のオリンピック候補などを加えてはどうか。

国際大会や全国大会などに出場するスポーツ選手が本市にスポーツチームだけではなく、本市にゆかりのある個人競技のトップアスリートや中高生などの未来のオリンピック候補などを加えてはどうか。

国際大会や全国大会などに出場するスポーツ選手が本市にスポーツチームだけではなく、本市にゆかりのある個人競技のトップアスリートや中高生などの未来のオリンピック候補などを加えてはどうか。

国際大会や全国大会などに出場するスポーツ選手が本市にスポーツチームだけではなく、本市にゆかりのある個人競技のトップアスリートや中高生などの未来のオリンピック候補などを加えてはどうか。

国際大会や全国大会などに出場するスポーツ選手が本市にスポーツチームだけではなく、本市にゆかりのある個人競技のトップアスリートや中高生などの未来のオリンピック候補などを加えてはどうか。

国際大会や全国大会などに出場するスポーツ選手が本市にスポーツチームだけではなく、本市にゆかりのある個人競技のトップアスリートや中高生などの未来のオリンピック候補などを加えてはどうか。

国際大会や全国大会などに出場するスポーツ選手が本市にスポーツチームだけではなく、本市にゆかりのある個人競技のトップアスリートや中高生などの未来のオリンピック候補などを加えてはどうか。

鈴木 浩二 議員

耐震改修促進計画の目標値達成に向けた取組を!!
—啓発活動を行いこれまで以上の地域一体での取組が必要—

国の方針として家屋の耐震化の目標値は、令和7年までに95%、令和12年までにおおむね解消としている。多くの市が同目標値に設定している中、刈谷市が令和7年に91%、令和12年に93%とした理由は、

空き家を含めた全ての住宅を対象としたこと、また、耐震性のある住宅の推計において、市の耐震診断実績に基づき、実態に即した耐震性率により算定するなど、より刈谷市の実情に沿ったものにしたことと考えられている。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷市の耐震化率は88.3%で、県平均以下である。ローラー作戦などに力を入れてきたが、耐震化率が思うように上がらなかった理由は、

ローラー作戦で地域を訪問し、無料耐震診断をお願いする現場の実態として、耐震診断を希望されない住宅の多くは高齢者のみの世帯の住宅であった。

現在、刈谷